

第12回 千城台地区学校適正配置地元代表協議会 議事要旨

1 日 時 平成24年6月15日（金） 18時30分～20時40分

2 場 所 千城台公民館 2階ホール

3 出席者

- (1) 委 員 22名 *代理出席 諸橋氏（中村委員の代理）
(2) 事務局 6名 *教育委員会企画課 高須課長、池田主幹、国方課長補佐、小口主査、
山崎主査補、安井主査補
(3) 傍聴者 10名

4 報告・議題

- (1) 平成24年度協議会委員の確認について
(2) 【報告1】 前回協議会について
(3) 【報告2】 前回協議会以降の動きについて
(4) 【議題1】 今年度の協議の進め方について
(5) 【議題2】 千城台地区小学校の適正配置について
(6) 【議題3】 次回開催日時・場所について
(7) 【議題4】 その他

5 会議資料

- 資料1：平成24年度千城台地区学校適配置地元代表協議会委員
資料2：第11回千城台地区地元代表協議会
資料3：今年度の協議の進め方
資料4：現行学区の児童数推計
資料5：「学校規模（概ね適正規模になる）」及び『学区の接続（飛び学区にならない）』から見て、
妥当と考えられる統合の組み合わせ
資料6：現行学区での統合シミュレーション
資料7：千城台地区小・中学校の施設概要
資料8：千城台地区学区図

6 議事の概要

- (1) 平成24年度協議会委員の確認
「平成24年度千城台地区学校適配置地元代表協議会委員」について確認・承認され、教育委員会ホームページに公開することとした。
(2) 【報告1】 前回協議会について
事務局が前回協議会での協議の内容について説明し、確認した。
(3) 【報告2】 前回協議会以降の動きについて
事務局が前回協議会以降の動きについて説明した後、各協議会委員から報告を行った。
(4) 【議題1】 今年度の協議の進め方について
事務局が今年度の協議の進め方について説明を行った後、協議を行った。
(5) 【議題2】 千城台地区小学校の適正配置について
事務局が「現行学区での推計」や、「規模と学区の接続から見て妥当と考えられる組み合わせの

シミュレーション」を中心に説明を行った後、協議を行った。

協議の結果、資料5に示されたシミュレーションのうち、3番、5番、7番について、各団体に持ち帰り、話し合ってくることを確認された。

(6) 【議題3】 次回開催日時・場所について

次回協議会は、平成24年8月31日（金）18時30分から20時30分、場所は千城台公民館にて開催することとした。

(7) 【議題4】 その他

氏家会長から協議会の話し合いの周知について要望があり、確認した。

7 発言要旨

(1) 会長挨拶（氏家会長）

新しい会長として承認いただき、感謝する。24地区連会長として、安部前会長からしっかりと引き継ぎ、協議会の流れについては承知している。前回協議会では「小学校の適正配置については必要である」という一定の方向性が確認されており、今年度は具体的な協議に入ることになっている。

24地区連内の37自治会には8400世帯ある。学校適正配置という重大な問題に対して、いろいろな人の意見を反映できるようにしていきたい。「声なき声」に耳を傾けていきたい。

また、協議会の中では、団体の代表として「声ある声」で意見をお願いしたい。いろいろな意見を吸収しながら前に進みたいと考えるので、よろしくお願いしたい。

(2) 報告

報告1 前回協議会について

〈山崎議長〉 事務局から報告をお願いします。

〈事務局〉 前回協議会は3月16日に開催され、「千城台地区の小学校の統合の必要性」について協議した。その結果、「千城台地区の小学校については、統合が必要であること」、「統合の組み合わせ・場所・時期」について協議することが確認された。

〈山崎議長〉 事務局からの報告について、質問や意見があればお願いします。

〈一同〉 質問・意見なし

報告2 前回協議会以降の動きについて

〈山崎議長〉 事務局から説明をお願いします。

〈事務局〉 「協議の周知」を図るため、前回協議会以降も「説明と意見交換」を継続実施している。具体的には、4月20日には北小PTA総会、5月9日には千城台地区7校校長会において、説明と意見交換を実施した。

北小PTA総会で出された主な質問と回答について紹介する。

Q 中学校はどうするのか。

A 小学校の協議を進める中で、協議の中で随時中学校についても検討することになっている。

Q 通学区域の変更はあるのか。

A 統合の組み合わせや統合場所を考えていく中で、併せて検討されていく。

〈山崎議長〉 今の説明について質問があるか。

〈一同〉 質問なし

〈山崎議長〉 次に、前回の協議会以降、各学校PTAや自治会等において話し合ったり、話題に出たりしたところがあれば、その様子をお聞かせいただきたい。

- 〈高野委員〉 事務局から説明があったとおり、PTA総会で適正配置の説明と意見交換を行った。今後も、協議内容等を報告する中で、意見集約をしていきたい。
- 〈大和久委員〉 特に話し合っていない。保護者からの質問や意見も出ていない。
- 〈佐々木委員〉 PTA運営委員会で報告をしたが、特に質問等はない。
- 〈栗山委員〉 PTA副会長とは話し合っているが、特に意見等はない。今後、PTAの会議等で議題にあげていきたい。
- 〈奥田委員〉 4月のPTA総会で説明したり、5月の役員会等でホームページに掲載されている議事要旨と資料を配布したりしたが、特に質問や意見は出ていない。
- 〈來住委員〉 前回協議会までの内容については報告しているが、特に質問等はない。
- 〈笹川委員〉 役員引き継ぎの中では、特に意見等はない。今後、出てきた時は次回以降の協議会で報告していきたい。
- 〈諸橋氏〉 北町自治会では会長から話は聞いているが、意見等はない。
- 〈加瀬委員〉 西町では議題として取り上げ、特別支援学級についてはどのようになっているのかという質問があった。事務局に確認したところ、現在、北小に集約され約70名の児童がいると聞いている。今後、特別支援学級についても考えていくことが必要であると思う。
- また、千城台地区は小学校5校を2校か3校にしていく方向であるが、平成30年の児童推計では、東小以外の4校はかなり減少するようである。そうすると「3校よりも2校にする方が良いのではないか」と考える。
- 〈谷野委員〉 今のところ、役員会等でも質問や意見は上がっていない。東小学区の自治会として学校を支援したり協力したりしていきたい。
- 〈多田委員〉 南町自治会としては、役員会で報告をしてきた。また、7月8日（日）に行われる班長会でも適正配置について説明する予定である。南小防犯パトロール隊では、第一・第三火曜日、第二・第四金曜日の午後3時に南小学校正門に集合し、子どもたちの下校時のパトロールを実施している。また、学校のセーフティウォッチャーにも登録し協力している。当自治会では子どもが少なくなってきており、自治会の人たちも統合問題に関心はあるが、具体的にどうするかとの意見は出ていない。
- 〈児玉委員〉 旭小区内の自治会であるが、特に質問や意見等はない。
- 〈土屋委員〉 東小の学校評議員としては、特段に意見はない。先日、統廃合に伴う跡地活用の他県の事例が新聞に掲載されていたので紹介する。そこには、跡地となった土地を一部売却して、その費用を統合校に充てていることが書かれていた。千城台地区も、その方向で進めていただきたい。
- 〈酒井委員〉 学校評議員としては意見は出ていない。
- 〈鈴木委員〉 同じく、特に意見は出ていない。
- 〈山崎委員〉 特に意見は出ていないが、昨年度まで南中のPTA会長であったので、保護者からの意見を紹介する。「25年4月に統合だよね」という間違った情報を聞いている人がいた。正確に伝えていくことが大切であると思った。
- また、中学校は後で良いが、小学校は早く進めてほしいという人や通学路の安全確保を願っている人がいるので、協議の中で反映させていきたい。
- 〈大澤委員〉 学校評議員会をまだ行っていないので、意見等はない。
- 〈石原委員〉 大澤委員と同じである。
- 〈鶴岡委員〉 学校評議員会としては話し合いを持っていない。
- 〈菅原副会長〉 西中学校区育成委員会では総会等でも説明しているが、特に意見等はない。
- 〈山崎議長〉 南中学校区育成委員会も6月の総会の中で説明しているが、特段意見は出ていない。

(3) 協 議

議題(1) 今年度の協議の進め方について

〈山崎議長〉 事務局から説明をお願いします。

〈事務局〉 資料3を説明する。ここに示したように、平成22年の第1回協議会以降、適正配置の必要性について協議してきた。前回協議会において「千城台地区の小学校については統合の必要がある」旨が確認された。これを受けて、今年度は統合の具体的内容である「統合の組み合わせ・場所・時期について協議する」こととなる。

そこで、具体的には「統合の組み合わせ」から協議したいと考える。それは、次の理由からである。

- ①「組み合わせ」を考えることは、「規模」・「配置」という学校適正配置を考える上での重要な視点を含んでおり、さまざまな事項の検討ができること。
- ②「場所」は「組み合わせ」の決定により決まってくること。
- ③既に今までの協議会でもシミュレーションを示しており、それを基に、委員から各団体へも説明いただいていること。
- ④時期については、協議の進捗に因る部分が大きいため、先に統合時期を決めてしまうと協議に支障が出てしまう危険性がある。

これらのことから、本日は「現行学区の場合」について協議いただきたいと考える。また「東小の一部を北小区に動かした場合は協議していかないのか」とのご意見があると思うが、学区変更という特別な手続きを含む内容となっていく。

そこで、会長・副会長と協議内容について事前に打合わせを持って話しあった結果、以下のように提案する。

- ・協議の焦点を絞る意味からも、まずは「現行学区の場合における統合の組み合わせ」から十分に協議する。
- ・その協議が「ひと通り終わった後」あるいは「動かした方を協議することも必要であるとなった場合」に、「東小の一部を北小区に動かした場合」を協議する。

〈山崎議長〉 事務局から説明・提案があつたが、質問があるか。

〈佐々木委員〉 現行の学区だと、東小のような適正規模の学校とその他の小規模校の統合という組み合わせとなると思うが、東小がそのまま残ると「いびつ」にならないか。

〈事務局〉 まずは、「5校を2校あるいは3校にしていく」という方向性とそれに沿った組み合わせを考えていく中で配置も検討されていくだろう。協議の中で挙げていただきたい。

〈佐々木委員〉 例えば、資料5のシミュレーション3番では、中学校区がねじれてしまうが、中学校区のまたぎをなくそうという意見もあるので、こだわらなくても良いかもしれない。

〈事務局〉 組み合わせを考えていく中で、妥当と思われる配置も決まってくると考える。

〈奥田委員〉 学区に縛られすぎるよりも、柔軟に考え、調整しながら進めていければと思う。

〈土屋委員〉 2・3学級のような複数学級となる学校は、現行では東小だけである。他の学校については小規模校であり、組み合わせを考える方向でいけば良い。個人的には、どこどこを組み合わせるかというよりも、「統合になるとどうなるのか(メリットが生まれるのか)の方が大切であると思っている。前回協議会でも適正配置を進めることに対して賛成しなかったのはそのような考えのためである。「人・もの・金」がつくのならば、いろいろ工夫をしながら進めていただきたい。

〈大澤委員〉 千城台は東西南北の町があるので、各地区に小学校あるいは中学校の何れかを1校ずつ配置する方がバランスが良いと思う。適正配置については、学校だけの問題でなく、各町内自治会、学校区単位で地域に密着して活動している青少年育成委員会や青少年補導員、青少年相談員等の青少年関係機関・団体等へもいろいろ影響を及ぼして

いくと思う。同時に、御成台地区の学区のねじれを解消していくことが重要な課題だと思う。

- 〈鈴木委員〉 前回協議会で、「小学校の適正配置は必要である」ことが確認されている。これから先は、教育行政が作る案が出ないとなかなか絞れないと思う。方向性が決まるまでは、行政（事務局）にお願いして示してもらった方が良い。また、各学校のPTA会長の熱意を感じる。早く進む方向を考えた方が良い。

議題（２）千城台地区の小学校の適正配置について

- 〈事務局〉 協議が次の議題の内容に入ってきているので、提示している資料を説明する。組み合わせを考える際の1つの視点が「規模」である。はじめに、その基礎となる「児童生徒数の推計・学級数」について、確認しておく。
- ①今年度は30年度までの推計を示している。（昨年度は29年度までを提示）
 - ②学級数は、今年度は、1・2年生が35人学級編制、3～6年生は38人編制で算出している。
 - ③②の学級編制に従って算出した平成30年度までの推計が資料4である。
 - ④資料5は、協議会において「学校規模と学区の接続から見て、妥当である」と既に確認されている「統合の組み合わせ」である。
 - ⑤資料5のうち、「現在の学区でのシミュレーション」を示したのが資料6である。
 - ⑥資料7は各小学校の施設概要、資料8は学区図である。
- 〈山崎議長〉 事務局からの資料の説明を踏まえ、まずは「現行学区の場合」から協議することとする。質問も含めて、ご意見を願います。
- 〈大和久委員〉 今まで伝えてきたように、西小としては数合わせの組み合わせには賛成できない。土屋委員からもあった魅力ある取り組みとしては、例として小中連携教育を挙げた。また、鈴木委員から「行政（事務局）からある程度の方向性を示してもらおう」ということも良いと考えるが、小中連携教育について先行して研究していた更科小・中学校の成果や課題等も示していただければと思う。
- 〈栗山委員〉 私は40年近くこの地に住んでいる。昔は子どもたちが大変多くいたが、現在は少ない状況が続いている。個人的には、ある程度通学しやすい配置を考えていただきたい。組み合わせを考える中で児童数を検討し決定し、その後に配置を考えると良い。
- 〈來住委員〉 学区、通学距離、校舎の状況、教室の数等、いろいろな面から検討する中で、選択肢も狭まってくると思う。資料5のもう少し狭いパターンを示していただき検討していくと良いのではないかな。
- 〈高野委員〉 通学距離と安全確保が第一優先と考える。そういう意味では、小学校5校を2校か3校にする方向であるが、個人的には3校が良いかなと思う。
- 〈鈴木委員〉 2校にするか3校にするかは、3校案は東小を残す案しかないのだから、2校か3校かは決めやすいのでは。
- 〈佐々木委員〉 東小は、御成台だけではなく、更科小学区である下田、谷当、旦谷、大井戸等の学区外承認地域からも通学している。そこから通学する児童は、概ねバスを利用している子が多いという実態があり、統合した場合の配置としては更科バスが停車する場所が良いと考える。西中への通学もバスを利用している生徒が多いようである。
- また、前からも述べてきたが、御成台を北小に移した場合、四街道市の鷹の台を通ってくることは賛成できない。
- 〈鈴木委員〉 なぜ佐々木委員が学区の話を出されたのか、今の説明で理解した。

- 〈笹川委員〉 学区で決めるのか、学校規模で決めるのか、どちらにしても具体的にはっきり決めてからの方が理解しやすい。もう少しパターンを絞った方が良いと考える。
- 〈鶴岡委員〉 30年度以降の推計はどうなるのか、わかれば教えていただきたい。
- 〈事務局〉 住民基本台帳を基に推計しているので、現在0歳児の子どもが6年後となる30年度までしか推計は示せない。
- 〈加瀬委員〉 学区は重要ではあるが、まずは規模で考えた方が良い。仮に、統合して5～10年後に再び統合となるような、「統合を2度経験させること」は良くない。
いろいろ考えていく中で、結果的に数合わせになっても仕方がないのでないか。
- 〈多田委員〉 12回の協議会を約2年間行ってきた。方向性は確認されているので、もう少しパターンを絞っていきけるのではないか。
- 〈石原委員〉 「たたき台」が必要である。今回示されたシミュレーションから絞っていきけるのではないか。会長・副会長と事務局で案を考えて作成してもらうなど、絞っていただきたい。数合わせとなっても、最終的には魅力ある学校作りにつなげていければと考える。
まずは、「たたき台」を作って話し合っていくと良い。
- 〈鶴岡委員〉 資料5では12通りのシミュレーションが示されている。2学級となるとすぐに単学級となってしまふことが考えられるので、2学級だけよりは3学級あった方が良い。
現行学区だと、シミュレーション3番が良いと思う。
- 〈土屋委員〉 東小は、中学校区のねじれがある。東小としては、御成台は離したくないと思うが、多少の犠牲は仕方がないのではないか。
- 〈鶴岡委員〉 あくまでも机上のプランであるので、現実的に考えていくことは良い。
- 〈酒井委員〉 基本的には学区制の中で考え、その中で御成台についても検討していくと良い。
- 〈山崎委員〉 統合を考えるには数合わせとなるが、通学距離や安全対策等も十分考えて進めていくわけであり、そろそろ決めていく時期ではないか。保護者に説明していく上で、適正配置の会議は行っているが、進展がないのでは示しが見つからない。この千城台地区を住みよい町にしていきたい。正直なところ、協議会委員のほとんどは、3校にしてはと思っていますか。
- 〈佐々木委員〉 私は2校だと考える。3校とすると、すぐに小規模校になる学校も出てくる。配置的にも小学校と中学校がくっついている場所もある。組み合わせや配置を決めてから「魅力ある学校作り」を考えると良い。
- 〈栗山委員〉 私も2校が良いと考える。
- 〈大和久委員〉 シミュレーション1番の学区を変えていくパターンを考えてみてはいかがか。
- 〈一同〉 それで、7番である。
- 〈奥田委員〉 私も2校かなと思う。
- 〈大澤委員〉 2校とすると、やはりシミュレーション7番となる。
- 〈大和久委員〉 小中連携を提案しているが、中学校は2校のままが良いと考えているので、小学校も安全対策等を踏まえ、中学校と合わせていけたらと思う。
- 〈山崎委員〉 まず、2校にするか3校にするかで決を採ってみてはどうか。特に、適正規模となることを考えていくことが大切である。適正規模は12学級以上24学級以下であったと思うが、どうして12～24学級を適正規模と考えるのか、改めて説明してほしい。
- 〈事務局〉 12学級だと通常は各学年2クラスとなり、クラス替えが可能となる。また、適正規模の最大24学級というのは、体育を例にとると、「教育効果の面から、1時間目に体育を入れない時間割」とすると、「体育館をその学級単独で使用できる時間数(コマ数)」は24コマとなる。24学級までであれば、体育館や特別教室等を使用するなどの場合、支障が生じない。児童の教育活動面から見た場合の1つの考え方である。

教育委員会としては、「複数学級であり、しかも1クラスの数人があまり多くない人数になることが良い」と考えている。小学校の1学級の市の平均人数は現在30人程度であるが、千城台地区の統合シミュレーションでは、同程度かそれよりも小さくなり指導がしやすい学級規模となると考えられる。

- 〈谷野委員〉 シミュレーション1番から、消去法で絞ってみてはどうか。
- 〈児玉委員〉 消去法で絞っていくと良い。早く進めていきたい。
- 〈高野委員〉 同感である。学区を移した場合も含めて考えていきたい。
- 〈大和久委員〉 私は、まず「魅力ある学校作り」を考えたい。多数決で決めるとなると、今までこの協議会では多数決では決めないと保護者に説明してきているので、一度持ち帰って、保護者に説明し直してからにしていきたい。
- 〈高野委員〉 事務局から1つ1つのシミュレーションを説明してもらいながら、協議していく方法ではどうか。
- 〈佐々木委員〉 消去法は多数決ではないと思う。ある程度絞っていききたい。
- 〈大和久委員〉 先ほど多数決という意見も出ていたので述べたままである。
一定の基準に従って絞っていき、それについて協議することは良いと思う。
- 〈山崎委員〉 この会議の中で、みんなで話し合っていて決めているので、保護者にもそういう説明をしていけば良い。
- 〈事務局〉 会長・副会長とも相談したが、本日は「何を基準にして、明確にしていくことが良いのか」を話し合っただけだと思う。佐々木委員からは、「学級減にならない規模」という基準の一例が挙げられている。他に基準はないか、考えていただきたい。
- 〈奥田委員〉 「学級数の差があまりない」組み合わせとなるのが良い。
- 〈事務局〉 ただ今、奥田委員から「学級数の差がない」という2つ目の基準が出された。
- 〈奥田委員〉 「あまり学区が飛び越えない(大きくなりすぎない)」組み合わせにもしていきたい。
- 〈石原委員〉 時間もないので、学校の保護者にも持ち帰って考えてもらって見てはどうか。
- 〈山崎議長〉 この資料5を持ち帰って各団体で話し合ってきて、次回協議会で報告することとして良いか。
- 〈加瀬委員〉 持ち帰る前に、もう少し絞れないか。
- 〈事務局〉 委員から提案された「しぼる基準」をまとめると、「単学級にならない規模」「学級数がアンバランスにならない組み合わせ」という2点になる。この基準を踏まえ、シミュレーション1～12番から選んでみるということにしてはいかがか。
- 〈一同〉 異議なし。
- 〈事務局〉 そう考えると、シミュレーション1番・2番・4番は単学級(学年1学級)となる。
- 〈栗山委員〉 1番、2番、4番は削除して良い。また6番も、学級数がアンバランスとなるので削除できる。
- 〈山崎議長〉 意見をまとめると、シミュレーション3番か5番となると思うが、いかがか。
- 〈栗山委員〉 シミュレーション7番も良いと思う。
- 〈事務局〉 それでは、シミュレーション3番、5番、7番について持ち帰り、各団体で話し合っただけということをお願いしたい。
- 〈栗山委員〉 できればシミュレーション3番、5番、7番についての統合シミュレーション資料を送付していただけると保護者への説明がしやすい。事務局をお願いしたい。
- 〈事務局〉 できるだけ早急に送付する。

議題（３）次回開催日時・場所について

- 〈山崎議長〉 次回開催日時・場所について、事務局から提案をお願いする。
- 〈事務局〉 おおむね２か月に１度のペースで、「金曜日の夜の開催する」ということで実施している。次回は８月３１日（金）１８：３０～、場所は千城台公民館としたい。
- 〈一同〉 異議なし（了承）。
- 〈山崎議長〉 では、次回協議会は８月３１日（金）１８：３０～２０：３０、場所は千城台公民館とする。

議題（４）その他について

- 〈山崎議長〉 協議（４）その他であるが、委員から何かあるか。
- 〈氏家会長〉 この協議会の話し合いの周知について、事務局にお願いがある。
- 今までも「各学校に閲覧用として、資料と議事要旨を置く」「ホームページに公開する」「協議会だよりを配布する」等の周知を図ってきている。また、各団体では、協議会後にはさまざまな機会でも報告をしていただいている。これは今後も継続していただきたいと考える。
- 加えて「小学校の統合について必要である」ことが確認され、具体的内容の協議が始まったことを考えると、より広く周知を図ることが大切だと考える。
- そこで、例えば「市政だよりの区版」に載せる等が考えられるが、そういうことは可能か。
- 〈山崎議長〉 これについて事務局はいかがか。
- 〈事務局〉 今、すぐに「可能である」との回答は出来かねるが、協議会としての意向がある旨は早速伝えたいと考える。先日も、若葉区長には千城台地区の学校適正配置の協議について、進捗状況を含めた説明に出向いている。
- 事務局からもお願いがある。氏家会長から各町内会長に「町内会だより等を発行する際、可能ならば本協議会での協議についても触れていただきたい」旨を要請いただけないか。併せて、各校の「PTAだより」でも触れていただけないか。
- 〈山崎議長〉 「市政だより」の件は、事務局に検討・対応いただきたいと考える。
- また、氏家会長や各校PTA会長には、事務局からあったよう取り組みの協力をお願いしたい。他になければ、これで議事をすべて終了する。

（４）連絡

- ・ 次回協議会は８月３１日（金）１８：３０～２０：３０、千城台公民館で開催する。
 - ・ 本日の議事要旨（案）を作成し、委員の方々に郵送し確認していただく。期日までに回答がない場合は「修正なし」とさせていただきます。
- また、委員の確認を経て修正・確定した議事要旨と、本日承認された委員名簿を教育委員会ホームページで公開する。（※一同：異議なし）
- ・ 本日の協議内容について、各団体の方々にもお知らせいただきたい。

（５）会長挨拶（氏家会長）

協議会委員の方々の真摯な協議に感謝する。
今後、災害問題などの幅広い観点からも進めていきたい。よろしくお願ひしたい。